

令和6年度指定管理業務評価シート

評価対象期間	令和6年4月～令和7年3月	施設所管課	観光交流課
施設名	三朝バイオリン美術館 鳥取ヴァイオリン製作学校	指定管理料	16,450,000円
指定管理者名	株式会社みささ弦楽プロジェクト 代表取締役 岡野壮人		
指定管理期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
施設の概要	所在地 三朝町大字三朝199番地1 目的 本施設を適正かつ円滑に管理する。 構造 三朝町多目的展示施設建物（展示館：鉄骨造 創作館：木造） 運営方針 指定管理者の能力を活用しつつ、地域住民等に対するサービスの効果及び効率を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進を図る。		
指定管理者の主な業務	・施設及び附属設備の維持管理、運営に関する業務 ・施設の利用の許可及び利用料の徴収に関する業務		

1. 事業評価

モニタリング項目	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
(1) 公共サービスの実施状況				
協定書、仕様書、事業計画に基づく事業が適切に行われたか	B	B	聞き取り 書類確認	協定書、事業計画の内容について、適切に実施されている
基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	B	B	聞き取り	人員配置について、適正に配置されている
業務に必要な研修や職員の育成がなされたか	C	B	聞き取り	第3月曜日の定休日を利用し、職員研修を実施している
平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	A	A	聞き取り	苦情等は特になし
利用実績に関する帳簿が作成され、適正に管理されているか	B	B	聞き取り	適切に管理されている
減免対象者は適切に減免しているか			聞き取り	対象者がいないため評価なし
地域の活性化等につながる活動等への配慮はあるか	B	A	聞き取り	小中学校の課外授業の受入れや保育園・小学校での訪問演奏、町内行事（子どもフェスティバル）への参加、地域の清掃活動への参加等、協力している
満足度調査を実施し、その結果は妥当か	B	B	聞き取り 書類確認	アンケート調査を実施し、ほぼ満足の評価を得ている
利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	B	A	聞き取り	利用者からの声やアンケート調査の実施により苦情等把握し、業務改善に努めている
利用者拡大のための改善、努力がなされているか	B	A	聞き取り	ホームページやSNSを利用した情報発信の他、訪問演奏やコンサート実施により利用者拡大に務めた
(2) 施設の維持管理の実施状況				
施設の清掃、警備、衛生管理は適切に行われているか	B	A	現地確認 聞き取り	専門業者への警備委託、職員により施設の清掃や衛生管理は十分に行われている
備品、設備、施設の点検・修繕は適切に行われたか	B	B	現地確認 聞き取り	設備、備品等の点検を定期的に行い、修繕等予算の範囲で適切に行われている
消耗品の補充が適切に行われているか	B	A	現地確認 聞き取り	不足することなく適切に行われている
再委託先の業務を適切に管理しているか	B	B	聞き取り	経理業務を委託により実施している
点検等によって異常等が認められたとき、迅速かつ適切に処置が実施されたか	B	B	聞き取り	点検により修繕が必要な場合は速やかに行った

(3) 法令等の遵守状況					
個人情報の管理は適切に行われたか	A	A	聞き取り	個人情報の管理を適切に行っている	
町税、国税、社会保険料等の滞納はないか	A	A	聞き取り	滞納なし	
労働関係法規（労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法等）を遵守しているか	A	A	聞き取り	遵守できている	
設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	A	A	聞き取り 書類確認	消防設備点検等、適切に実施されている	
(4) 施設運営に関する情報の公開・発信					
ホームページ等可能な媒体を利用して情報公開しているか	B	B	聞き取り 書類確認	ホームページやSNSを利用した情報発信及び情報公開を行っている	
施設案内、事業開催案内等について周知広報を行っているか	B	B	聞き取り 書類確認	ホームページやSNSを利用した情報発信及び周知広報を行っている	
満足度調査結果等を公表しているか	B	A	聞き取り 書類確認	アンケート調査を実施し、毎月調査結果を整理し利用者が閲覧できるようにしている	
町への報告体制が確立されているか	B	B	聞き取り	適宜町へ報告を行っている	
(5) 施設の経営状況					
事業収支は妥当であるか	B	B	聞き取り 書類確認	事業収支報告書にて確認	
施設の運営に要する経費削減の取り組みは適切になされているか	B	B	聞き取り 書類確認	価格高騰の中、光熱水費、備用品費の削減に努めている	
(6) リスク管理の状況					
基準に基づき、保安、警備業務が適切に行われているか	B	B	聞き取り	専門業者へ警備委託し、施設など適切に管理されている	
緊急体制マニュアル等は整備されているか、職員に周知されているか	C	C	聞き取り	緊急体制について職員に周知はしているが、マニュアルが未整備	

2. 指定管理者の経営状況（全般）について

指定管理者	第10期は順調に経営改善につながりこれから期待できる流れが出ていっている。10年という周期もあり、ビジネスモデルの見直しを行ってきた結果、装置産業としての視点が経営に大きく関わっていくのではないかとと思われる。（鳥取ヴァイオリン製作学校の可能性）学校の生徒募集を再開して2年目、資料請求など全国からの問い合わせが増えてきている。外部顧問の構築もあり経営管理会計も整備され続けている。数字で見た視点と現場の視点の2点を合わせ将来堅実に成長していけるビジネスモデルを構築していきたいと考える。売上、変動費、固定費と引き続き創意工夫を重ね経営を行っている。各部門それぞれ今年度の予算に対して順調な実績で進行していく。これからも厳しく固定費を確認しながらも経費削減に努めるとともに、集客につながる情報発信を積極的に行うことで来館者数を増やし、ミュージアムショップの売り上げ改善を目指していきたい。業績とともに三朝に来てもらえるブランドづくりが大切である。
施設所管課	製作部門では、令和5年度は製作を中心に取り組みされており、令和6年度は販売、修理、営業に力を入れて取り組まれたことから、収入が大きく伸びると同時に製作学校の入学者の獲得に成功している。演奏・展示部門では、日頃から光熱水費や消耗品費といった固定費の見直しによる経費削減に取り組むと同時に、インターネットやSNSを活用したイベント情報や活動について情報発信を行い集客に努めている。ガイドツアーや試奏体験の利用増加から改善傾向にあるが、固定費削減には限界があるため、今後も引き続き情報発信を工夫し三朝バイオリン美術館の認知度を高め、集客に努めていただきたい。

3. 自主事業の実施状況（具体的な取り組み）について

指定管理者	第10期について、入館者数は昨年同様目標に達しなかった。三朝温泉旅館への働きかけ、WEBでのPRなど、積極的に行っていきたい。また、同時に館内の展示についても、見直しをしていきたい。受付部門ではドリンク付きのバイオリン試奏体験が人気である。他にオリジナルのタンブラー・トートバックを製作し、ミュージアムショップでの販売を行っている。また演奏部門では毎月固定のコンサートイベントが少しずつ定着化している。三朝町・JTBとの企画として実施したナイトコンサートでは、新たな当館のイベントとして好評をいただき、今後継続して実施していく。4月より開講した「大人のバイオリン教室」、そして当館のメインイベント「弦展」に合わせて「弦展こども合奏団」が発足し、全世代がバイオリンを学ぶことができ、より音楽が身近に感じられる環境が作られつつある。館外での依頼演奏も増え、当館を各地でPR出来る機会になっている。製作部門では鳥取県、島根県東部の部活で楽器を使用している中学校・高校に出張し楽器を調整、修理しており、その他定期的なメンテナンス会により新規でのアトリエへのお客様も増えている。製作学校部門では、夏休み体験スクールが盛況で、その中から入学者が3名出たのは大きな成果である。
施設所管課	4月から開講の「大人のバイオリン教室」、弦展での「弦展こども合奏団」の発足といった全世代がバイオリンに親しめる、三朝バイオリン美術館独自の新たな企画により集客に努めている。また、これまでの事業の関わり等から館外での依頼演奏も増えてきており、情報発信だけでなく演奏者や訪問演奏による繋がりについても着実に事業へ繋げてきていることが伺える。製作部門では、品評会への出展、楽器のレッスンやコンサートでの人との繋がり、そして中学校・高校への楽器調整・修理といった出張メンテナンスの取り組みから、アトリエの利用客獲得に繋げている。また、製作学校への生徒獲得に向けた夏休みの体験スクールの開催により、3名の入学者を出すなど大きな成果となっている。今年度、美術館内の展示室に新たなパネルを展示されたように、展示のリニューアルについては継続して行っただき、引き続き、集客に向けた取り組みに期待したい。

4. 総括評価

B	指定管理者	「音楽で喜びを広げる」という弊社の経営理念に沿っているかと常に確認しながら運営している。経営、教育、文化芸術振興、のどれも欠く事なく継続していくことが当館の魅力に繋がり、また三朝町の誇れる文化施設になり得ると信じており、今後も様々な角度から三朝バイオリン美術館の存在意義・想いを伝えていきたい。第11期は、今年度までの内容をブラッシュアップさせて、1つ1つのコンテンツをさらに魅力あるものにしていく。経営面においては管理会計や外部監督により弊社の企業活動の向上も引き続き目指していく。同時に適正価格の見直しなど行うことで、経営状況も安定させていきたい。今後も三朝町、観光協会など地域との連携をさらに図りながら、三朝町民に親しまれる三朝バイオリン美術館にしていきたい。文化が豊かな街となり、人が豊かになること目指していく。
	施設所管課	経営理念に則り特色ある事業を展開されている。また、これまでの事業関係者との繋がりから、大人のバイオリン教室、中学・高校の部活動への出張メンテナンス等といった演奏・展示部門、製作・学校部門とそれぞれに新たな事業を企画実施されており、安定的な経営に繋げるべく努力されている。経営改善については、経費削減には限界があるため、今後も引き続き情報発信や展示方法を工夫し、事業収入を増加させるべく集客に努めていただきたい。

5. その他特記事項（※施設担当課記載欄）

特に評価される点	・弦楽器という限定された世界の中、経営理念に則り特色ある事業を展開されている。 ・これまでの事業展開から培った人脈から、新たな事業企画の実施に繋げている。
改善が望まれる点	・展示室の展示方法については、課題を感じておられることから利用者に更に満足感を感じていただける工夫をお願いしたい。 ・緊急体制マニュアルの完成に向けて取り組んでいただきたい。

評価基準

（1）項目別評価

A	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
B	求める管理水準が適切に実施されている

C	求める管理水準に概ね沿った内容ではあるが、一部に課題がある
D	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
E	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がされている

(2) 総括評価

A	項目別評価が全てB以上（適切等）であり、かつAが70%以上である
B	項目別評価が全てC以上であり、かつB以上が70%以上である〈A以外〉
C	項目別評価が全てC以上である〈A及びB以外〉
D	項目別評価にDが含まれている
E	項目別評価にEが含まれている